

「6月の植物園(1)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

先日、知人2人と、久しぶりに小石川植物園に行ってきた。私はこの植物園の後援会に入っている。この後援会は、入会金のみで年会費はない。一度入会すると、「永年会員証」をもらえて、自分を含めて4人まで、何度でも無料で入園できる。(どなたでもご一緒にどうぞ。歓迎します。)



6月の植物園は、際立った特徴がない。花が多いわけでも、紅葉が美しいわけでもない。「新緑」と呼ぶのにもちょっと遅い。そんなわけで、訪れる人は非常に少なく、園内はガラッと空いている。



秋には写真家や画家が集うこのスズカケの森も、今はひっそりとしている。小鳥の声だけが聞こえる。



スズカケノキ(プラタナス)の大木を見上げてみた。初夏の大木の、緑の濃さ・重量感に、ただただ圧倒される。この時期ならではの眺めだ。



更に奥に進んでみた。ここにも人の気配は全くない。一瞬、ここは東京の真ん中ではなく、南スウェーデンの森の一角かと錯覚を起こした。こんな景観の場所に、小さな家を建てられたらいいなあ、とも思った。